

平成 28 年 5 月 25 日

## 第 4 回 UEJ 「大学開放研究会」の開催ご案内

NPO 法人 全日本大学開放推進機構  
UEJ 「大学開放研究会」代表 河村 能夫（龍谷大学名誉教授、REC 顧問）

### 挨拶

本機構では、昨年から教育・研究に加えて地域社会への貢献が使命となった新しい時代の大学開放のあり方を考える研究会を開催しております。研究会は、第一部講演と第二部共同討議から構成されます。第一部講演の内容は年 4 回発行の本機構の『UEJ ジャーナル』に随時掲載していき、第二部共同討議の内容は年度末に研究会報告書としてまとめる予定です。

本研究会では、大学に関わる幅広い方のご参加をお待ちしております。ご多忙とは思いますが、ご興味・ご関心のある方は、ぜひふるってご参加ください。

### 記

#### 第 4 回 UEJ 「大学開放研究会」

平成 28 年 7 月 2 日（土）

龍谷大学 深草キャンパス 紫光館 4 階 401 号教室  
（京都市伏見区深草塚本町 67）

第一部 13：30～15：00

講演：「生涯学習社会の行方」

講師：板橋一太 司会：河村能夫

※講演 60 分と質疑応答 30 分

第二部 15：15～16：35

共同討議：テーマは参加者から募集

司会：河村能夫

会費 資料代等 1,000 円 定員 30 名

申込先 原則として、メールで一週間前までに、

① 名前、②職業、③連絡先、④共同討議のテーマを記載して  
事務局へメールで申し込みください。

事務局 shigeto.j.k@gmail.com

## 第4回 UEJ 「大学開放研究会」 7月2日(土)

於・龍谷大学深草キャンパス紫光館 4階 401号教室

**第一部：講演 13：30～15：00**

**テーマ：「生涯学習社会の行方」**

**講師：板橋一太 講師：河村能夫**

要旨：1986年の「生涯学習社会への移行」宣言から30年を経過した今、私たちの生涯学習環境はどうなっているのかを考えたい。

関係諸機関（公的施設、大学、民間施設など）はどのように生涯学習の機会を提供し、学習者はどのような学びをしているのか、政府審議会ではどのような検討が行われているのか、生涯学習先進国とされるイギリスから学ぶべき点はあるのか、など。

以上の観点から、次のような検討課題が浮かびあがってくる。

- ・高齢者・超高齢者の生涯学習についてもっと考慮すべき余地はないか
- ・学習者の既往学習の程度(レベル)に応じた学習の提供ができるよう工夫する余地はないか
- ・社会生活を送る上で誰でもが必要とするような学習内容のカリキュラムを提供できないか
- ・バウチャー制度(学習費用補助)のような方法により生涯学習へのインセンティブを高めることは考えられないか
- ・生涯学習に携わる職員の能力向上を支援する必要はないかなど、である。

当日はこれらについて論じてみたい。



**講師紹介：板橋一太(いたばし いちた)**

公益財団法人 日本スポーツ仲裁機構執行理事・事務局長。

1944年福岡県生まれ、九州大学大学院法学研究科修士課程修了。1970年文部省入省、1975年ロンドン大学(Institute of Education)留学、1980年在フランス日本国大使館1等書記官(日本政府ユネスコ常駐代表補)、この間に文部省学術国際局国際学術課長、高等教育局企画課長等歴任、1995年大臣官房審議官、1999年東京大学事務局長、2001年特殊法人日本育英会(現・独立行政法人日本学生支援機構)理事 2004年日本オリンピック委員会(JOC)常務理事等を経て現在、特定非営利活動法人全日本大学開放推進機構理事。

**第二部：共同討議 15：15～16：35**

**司会：河村能夫**

**次回予告 16：40**